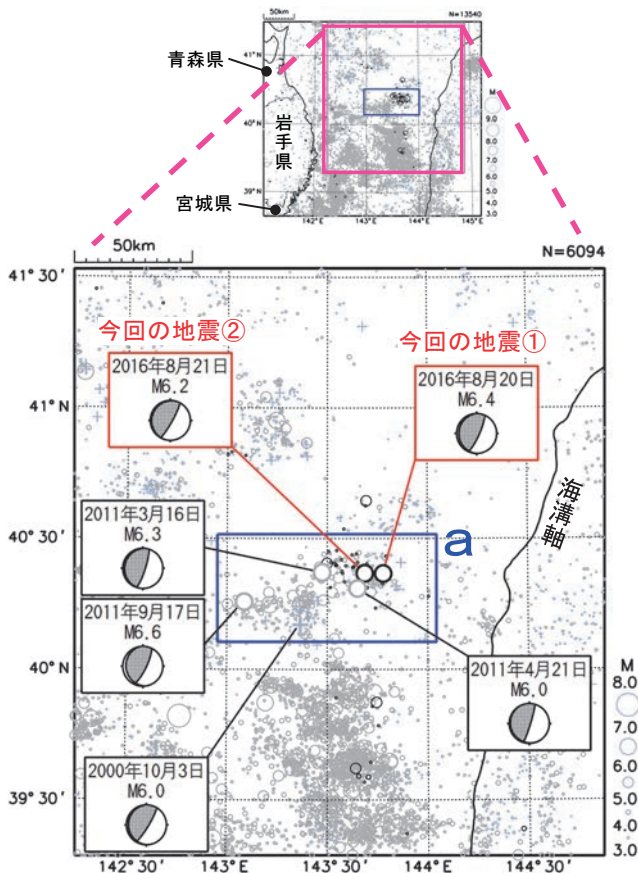


8 月 20 日、21 日 三陸沖の地震

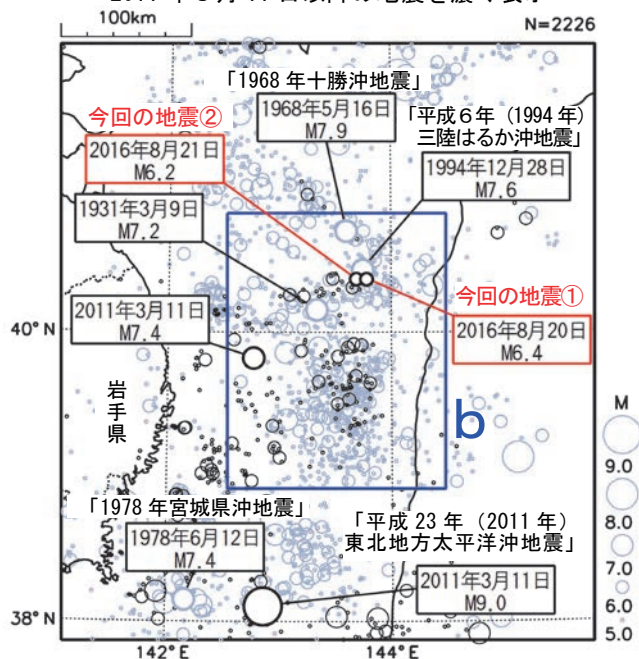
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2016 年 8 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○
2016 年 8 月の地震を濃い○で表示。
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2016 年 8 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)
2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

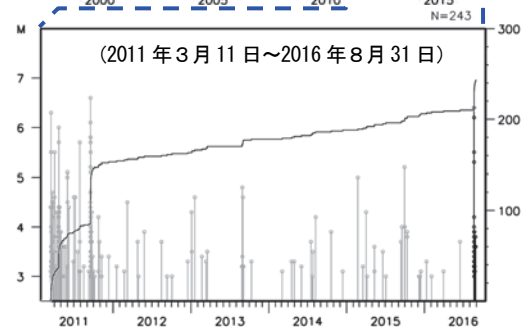
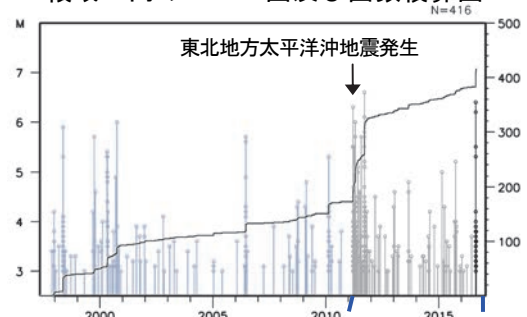


2016 年 8 月 20 日 18 時 01 分に三陸沖の深さ 10 km（CMT 解による）で M6.4 の地震①（最大震度 3）が発生した。また、この地震とほぼ同じ場所で、21 日 00 時 58 分に M6.2 の地震②（最大震度 3）が発生した。これらの地震は発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、これらの地震の発生以降、領域 a 内では、震度 2～1 を観測する地震が 2 回発生している。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 a）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」発生後、2011 年中に M6.0 以上の地震が 4 回発生したが、それ以降、今回の地震までの間に M6.0 以上の地震は発生していなかった。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、「1968 年十勝沖地震」や「平成 6 年（1994 年）三陸はるか沖地震」が発生するなど、M7.0 以上の地震が 9 回発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

